

## 傘 か し げ

校長 二瓶 亮

一雨ごとに朝晩の冷え込みが厳しくなり、紅葉も一気に北から南へと駆け抜けています。早いもので師走となります。2学期のまとめの月、また1年の締めくくりの月でもあります。残り少ない2学期、コロナウイルス感染防止対策の徹底を行い、最後まで元気に学校生活を送りましょう。保護者の皆様、お子様の健康管理に十分に御配慮いただき、特に3年生は進路選択の本番を迎える時期を健康に過ごせますよう、よろしくお願いいたします。

ところで、皆さんは、雨の日の登下校時に狭い歩道で人とすれ違う際に、自分の傘を少し斜めに傾けて通り過ぎていますか。この動作にはすれ違う時、傘同士が当たらないように、そして自分の傘のしずくで相手を濡らさないようにという、相手を思いやる気持ちが込められています。これは、「江戸しぐさ」という行いの一つであり、「傘かしげ」といいます。



「江戸しぐさ」には、「傘かしげ」の他に、狭い道ですれ違う時に互いの肩が当たらないように少し体の向きを変える「肩引き」や腰をこぶし分浮かせて席を詰め合う「こぶし腰浮かせ」、人混みでうっかり他人の足を踏んでしまった時にすぐに詫言を入れる「うかつあやまり」などがあります。このように江戸時代の人たちは、相手のことを考え、相手を思いやる気持ちをもって暮らしていたことが、「江戸しぐさ」の行いから伝わってきます。「しぐさ」とは、他人が見ていなくても思わず出てしまう習慣づいている癖のようなものだそうです。相手を思いやる癖ならいくつあってもよいものです。

2年生は明日、上野・浅草方面へ校外学習に出かけます。3年生で行う修学旅行に向けて、各班が学習テーマを決めて、公共交通機関を使い学習する1日となります。自分たちで立てた計画に基づいて行動し、学習テーマの答えを見つける場となりますが、その行程の中では当然、公共のルールやマナーを守るといったことが求められます。駅のホームや電車の中、そして上野・浅草の街中で「江戸しぐさ」のような行いができるといいですね。「思いやりの心」も成長させる校外学習になることを期待します。

1年生は年明け1月11日(火)から2泊3日でスキー教室(長野県菅平高原)に出かけます。バスでの移動やホテルの中、スキーの講習中に「江戸しぐさ」に込められた相手を思いやる気持ちが「しぐさ」として出せたら素敵です。1年生もスキー教室の3日間を、教室では学べないことをたくさん学んで、スキーの技術を上げ、心の「ひきだし」も増やす機会としましょう。行事を通して吹中生の成長していく姿を見られるのはとても楽しみです。

2学期のゴールが見えてきましたが、まだ3週間あると思えばさらに自分を成長させることはできます。今年初めに立てた目標のやり残りを少しでもなくすことにも挑戦できます。吹中生には2学期を振り返り、成長できたところは自分を褒め、普段自分を支えてくれている周囲への感謝を忘れずに残りの3週間を過ごして欲しいと思います。御家庭での応援をよろしくお願いいたします。